

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 愛知県あま市立甚目寺小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒490-1111 愛知県あま市甚目寺西40

E-mail sho_jimokuji@city.ama.ed.jp

Website http://www.city.ama.ed.jp/sho_jimokuji/

児童生徒数 男子 344名 女子 300名 合計 644名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

<はじめに>

本校の周りには、飛鳥時代に創建された甚目寺観音をはじめとする歴史的・文化的・伝統的な遺産が数多く存在します。本校では、ESDの視点に立ち、この地域を「ふるさと甚目寺」としてつなげていくために、自分たちがこの地域で大切にしたいものに目を向け、人や地域にかかわり、人から人へ伝え、人や地域とつながる学習や活動を進めています。その発展として、ユネスコスクールに加盟しました。

<平成27年度の活動>

① 世界寺子屋運動に参加

日本ユネスコ協会連盟が主催する、書き損じはがきなどを集めてアジアの国々の寺子屋運営を支援する取組。活動の一環として、寺子屋を必要としている地域の実態や寺子屋で行っている活動について学習した。そのまとめとして書き損じはがきを集める際に用いるリーフレットを作成。今年度は、ユネスコからカンボジア学習キットを借り、地雷注意の看板や、日常生活で使っている食器や学商品などを手に取ることで、カンボジアの生活をより身近に感じ学びを深めた。また、写真や動画なども用いて寺子屋の必要性を感じてからリーフレットを作成した。現在、日本ユネスコ協会連盟のホームページで、リーフレットコンテストを行っており、甚目寺小学校からの応募作品や他校の児童生徒の作品も見ることができる。

② 愛知県ユネスコスクール交流会に参加

愛知県教育委員会が主催し、日本ユネスコ国内委員会、ユネスコ・アジア文化センター、中部ESD拠点協議会が講演する、愛知県ユネスコスクール交流会に参加した。

当日の様子

愛知県のユネスコスクール交流会のオープニングイベントとして、小中高各4校ずつ合わせて、12校の学校が地球市民交流センターの屋内広場で、15分ずつのポスターセッションを行った。甚目寺小学校は、6年生3人が代表で発表を行い、本校のESDの取組の様子の全体像を伝え、詳しくは昨年取り組んだ5年生時の成果を発表した。たくさんの方々に見ていただく中、丁寧に伝えることができ、来場者からの質問にも、児童が自分の言葉でしっかりと対応してきた。

③ 岐阜県養老郡養老町立広幡小学校（ユネスコスクール）との交流開始

広幡小学校は、養老の町を舞台にふるさと学習を進めている全校児童がおよそ100名規模の学校。甚目寺小が進めている「ふるさと甚目寺」を中心に据えたESDに興味と繋がりを見だし、豊島校長先生が11月5日に来校され交流が始まる。

第1回目は、児童会の代表より広幡小学校の紹介をいただいたので、甚目寺小学校からも、6年生の児童会役員が中心となって、あいさつと簡単な甚目寺小学校の紹介をした。担当者間でも話が進められ、今後お互いのふるさと学習について、持続可能な交流をしていくことが確認されている。現在は、児童会の役員が学校の概要や、取り組んでいるふるさと学習についての学習成果物を交換する形での交流を進めている。今後は人的な交流も視野に入れて進めていく見通しである。

④ 第4回ユネスコスクールESDパワーアップ交流会の実践発表

本校のESDの取組を、2月6日に東京都江東区の八名川小学校で開催された、ユネスコスクールESDパワーアップ交流会で実践発表した。今年度は4年生が環境をテーマにした取組をしている様子を伝えた。今年の切り口は、漂流ゴミという一見自分とは関係なく思いがちなものから、今、自分が住んでいる地域の環境に目を向け、実際に行動を起こす授業実践は多方面の関係者の興味・関心を集めた。後日、環境省の職員が来校され、本実践を詳しく説明させていただいた。

